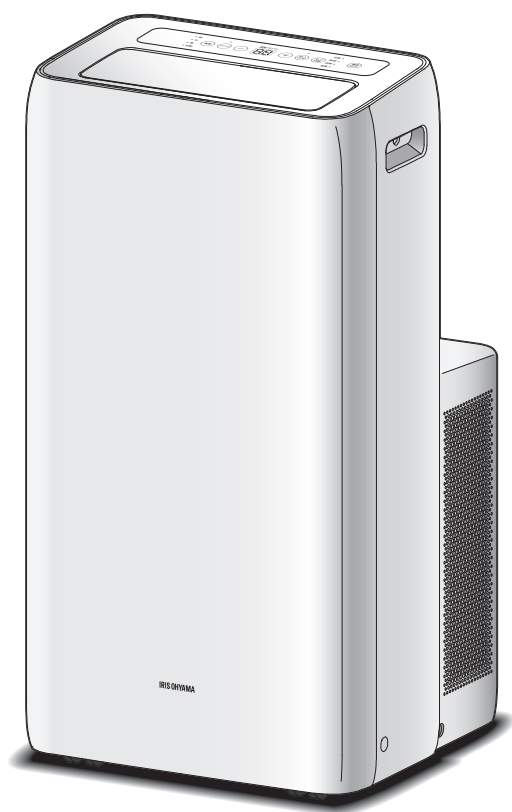


取扱説明書

室内・家庭用 ポータブルクーラー

型番 IPA-2822GH / IPA-3522GH



※ イラストは、特に記載のないものはIPA-3522GHです。

本製品はルームエアコンとは異なります。
排気ダクトや窓パネルは正しく取り付けてください。
冷えない、暖まらない原因になります。

温風運転時は、ドレン水がたまりやすくなるため、
排水処理が必要になります。
※室内環境によっては、冷風運転時にもドレン水が
たまることがあります。

最新の取扱説明情報は当社WEBサイトで
ご覧いただけます。
[https://www.irisohyama.co.jp/products/
electrical-appliances/large-appliances/
air-conditioner/portable-air-conditioning/
portable-air-conditioning-gh](https://www.irisohyama.co.jp/products/electrical-appliances/large-appliances/air-conditioner/portable-air-conditioning/portable-air-conditioning-gh)



日本国内専用 (FOR USE IN JAPAN ONLY)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見るできるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用の前に

安全上の注意	3
使用上の注意	6
各部の名称	8

運転前の準備

リモコンに電池を入れる	10
本製品の設置	10
窓パネルの組み立てと取り付け	12
必要に応じて使用する	16

使いかた

使いかた	
冷風運転	18
除湿運転	19
送風運転	19
温風運転	20
その他の機能	
切タイマー・入タイマー運転	21
おやすみ運転	22
スイング	23
チャイルドロック	23

排水について

排水について	24
--------------	----

お手入れ

本体のお手入れ	26
エアフィルターの掃除	27
保管のしかた	27

こんなときは

こまったときは・・・	28
本体表示部に英数字のコードが表示されたら・・・	29

アフターサービスとその他の内容

仕様	30
長期使用製品について	31
保証とアフターサービス	31

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードについて



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に
差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 延長コードは使用しない
- 屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用する
- 電源コードを抜いて停止しない
火災・感電の原因になります。

設置について



- 梱包用ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管する
誤って被ると、窒息死の原因になります。
- 付属品は、重量に耐える場所に確実に取り付け。また、取り付けは必ず付属の窓パネルや指定の部品を使用し、正しく行う
取り付けが不十分だと、落下によるけがの原因になります。
- 水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。(ご家庭の分電盤に設置されていることがあります)
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- 可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけないでください。また、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・塗料などの引火性のもの、爆発のおそれのあるものの近くでは使用しない
爆発・火災・故障・変形の原因になります。
- 暖房器具の周辺など、熱気が当たる場所では使用しない
故障・変形の原因になります。



アースを接続

- アースを取り付ける
アースを取り付けることをおすすめします。アースを取り付けないと、故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。下記のような場所で使用する場合は、必ずアースを取り付けてください。
 - ・ 湿気の多い場所
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
 - ・ 水気のある場所
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ
 アース工事(D種接地工事)を行うときは、販売店または専門業者に依頼してください。
ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しないでください。
感電の原因になります。

安全上の注意

異常時には



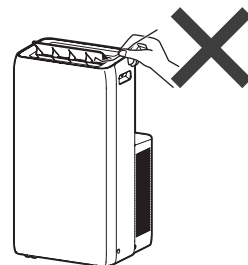
プラグを抜く

- 直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 内部に水・異物などが入った
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 変形したり、ひび割れしたりしている
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

禁止事項



- 吸込口・吹出口・排気口にピンや針金などの異物、または指を入れない
本体内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく
液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



分解禁止

- 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

本体について



- 製品の分解や修理・改造はしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
- 本体の上に物を載せない
- 本体に洗濯物などをかけない
落下して、けがや火災の原因になります。また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。
- 吸込口・吹出口・排気口をふさがない
風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因になります。
- 風の流れをさえぎるようなものを周囲に置かない
過熱して火災の原因になります。

お手入れについて



- 付属品の取り付け・取り外しやお手入れをする際は、手袋をはめる
けがの原因になります。



- お手入れのときは、不安定な台に乗らない
転倒してけがの原因になります。
- 本体内部の金属部に触れない
けがをするおそれがあります。



- 屋外では使用しない
故障・感電の原因になります。
屋内あるいは準屋内（屋根があり直射日光や雨があたらない場所）で使用してください。
- 障害物（カーテンなど）の近くや不安定な場所（傾斜がある場所など）では使用しない
本体転倒・事故・故障の原因になります。
- 押し入れや家具のすき間、机の下など狭い場所では使用しない
発火・故障の原因になります。
- 次のような場所では使用しない
 - ・ ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる場所
 - ・ 温室やビニールハウスなど湿度の高い場所、雨や水しぶきがかかる場所
 - ・ 工場内や飲食店、厨房などの油のつきやすい場所
 - ・ 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い場所
 - ・ 火花が散るような場所
 - ・ 加工油や防錆油、有機溶剤を使用している場所
 感電・火災・破損・故障の原因になります。
- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
製品内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。



- 長時間冷風や温風を身体に当てない
- 冷風温度を下げすぎない
- 温風温度を上げすぎない
特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。
- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務・特殊用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。



- 本体の移動は必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。また、引きずっての移動は絶対にしない。畳や傷のつきやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの場合、持ち上げて移動する
水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電・火災の原因になります。また、床を傷つけたり、けがの原因になります。
- ヒーターなどの燃焼器具と一緒に使う場合はこまめに換気する
換気が不十分な場合は、一酸化炭素中毒、酸素不足の原因になります。

電源プラグ・電源コードについて



プラグを抜く

- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
- お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く
けがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

冷媒に関する注意



この製品には、GWP（地球温暖化係数）が2090のフロン類（R410A）が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。廃棄する場合、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になり、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者に委託し、適切に処理していただく必要があります。ご不明な点は、お住まいの地方自治体の窓口に確認をお願いいたします。

使用上の注意

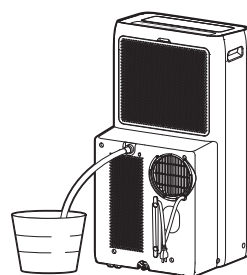
- ルームエアコンなどと構造が異なりますので、簡易的な冷暖房としてお使いください。
- お部屋の広さによっては、十分に冷えない、暖まらない場合があります。
- 排気ダクトや窓パネルは正しく取り付けで使用してください。
お部屋が冷えない、暖まらない原因になります。
- 電源プラグを抜き差しして再度運転する場合は、3分以上待ってください。
落雷などにより運転動作に異常があった場合は、一度運転を停止して電源プラグを抜いてください。
再度運転する場合は、3分以上待ってから再度運転させてください。

設置について

- テレビやラジオなどのAV機器から2m以上離してください。
電波障害の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に設置しないでください。
製品内部の温度が上昇し、運転が停止する（エラーが表示される（→P29））おそれがありますので、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
- 窓パネルは、雨どいの真下を避け、強い風などにより窓から雨水が侵入しない場所に取り付けてください。

使用について

- 冷風・除湿運転時は、室温16～35℃の範囲でお使いください。
- 温風運転時は、室温12～25℃の範囲でお使いください。
指定の温度範囲外で使用すると、機械の保護機能がはたらき、運転できないことがあります。使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。
- エアフィルターを外した状態で使用しないでください。
本製品内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- 排気ダクトを延長しないでください。
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。
能力低下や安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。
- ゴム栓、ゴム栓カバーは、冷風運転、除湿運転、温風運転の排水時以外は、取り外さないでください。
水もれの原因になります。
- 騒音に注意してください。
設置場所や本製品自体の振動などにより、騒音が発生する場合があります。
 - ・ 排気口からの風の騒音
 - ・ 排気口からの風が近傍のものに当たったときの騒音
 - ・ 不安定な場所に設置したときの振動による騒音
 - ・ コンプレッサーの振動による騒音
- 雨や風が強いときは、使用を中止し窓パネルを取り外してください。
室内を汚す原因または破損の原因になります。
- ドレン水を受けている容器の水量をこまめに確認し、ホースの先はドレン水に浸からないようにしてください。
ドレン水が室内にこぼれて、家財などをぬらす原因になります。
- 連続排水する場合は、ホースの折れ曲がりや落差などに注意してください。



お手入れについて

- 長期間（1か月以上）使用しないときは、リモコンの乾電池を取り外してください。
- エアフィルターのお手入れはこまめに行ってください。
エアフィルターにほこりが詰まると風量が減少し、能力が低下します。
また、エアフィルターを外したまま運転をすると内部にごみが付着し、故障の原因になります。必ずエアフィルターを取り付けてお使いください。

異常時は

- ポータブルクーラーを運転しても冷えない・暖まらないときは、以下について確認してください。
 - ・ お部屋が閉め切られていない
 - ・ 窓パネル・排気ダクトが正しく取り付けられていない
 - ・ シャッターが開いていない
 - ・ 室内の温度が高すぎる（低すぎる）
 上記を確認しても改善しない場合、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は人体に対して無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。

知っておいていただきたいこと

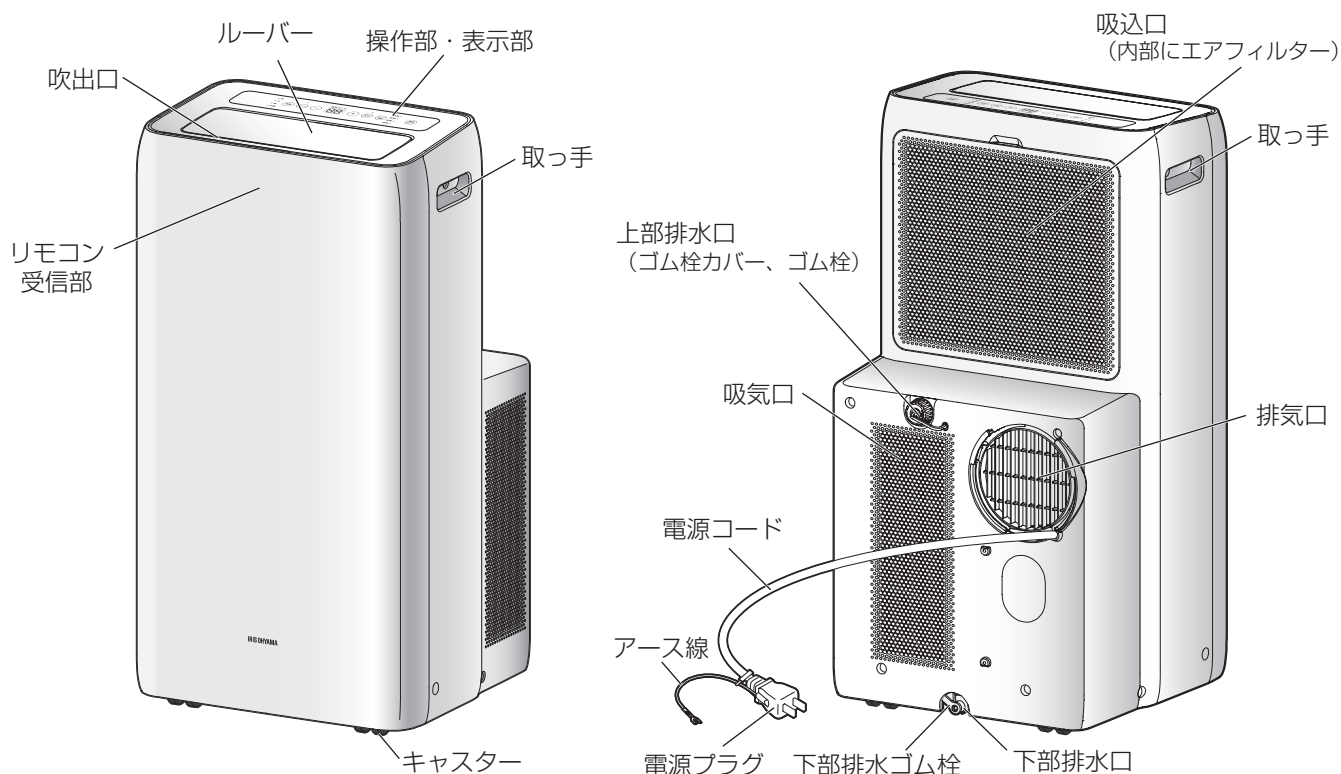
- 運転中に停電した場合、停電復帰後に停電前の運転モードで運転を再開する機能があります。
- リモコンは落としたり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
- リモコンの受信距離は正面で約7m以下です。室内に電子点灯形（インバーター形）の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
- リモコンの送信部を本体正面に向けて操作してください。本体正面以外へ向けると動作しないことがあります。
- リモコンの送信部と本体正面の受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。
- リモコン操作をしても動作しない場合、動作が正常でない場合は、乾電池を交換してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 本製品は発電機の電源には対応していませんので、必ず商用電源を使用してください。
- 落雷のおそれのあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

廃棄について

- 本製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。
- 廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者ご自身の負担により、専門の回収業者（登録制）に委託し、適切に処理してください。
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

本体



注意

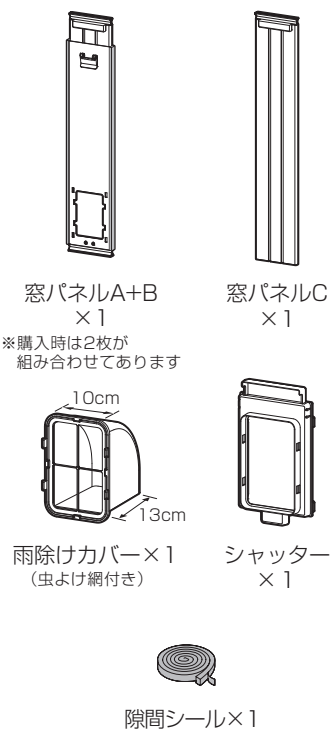
● ゴム栓、ゴム栓カバー、下部排水ゴム栓は、冷風運転、除湿運転、温風運転の排水時以外は取り外さない。
水もれの原因になります。

付属品

■運転前の準備に使用するもの



■窓パネルセット



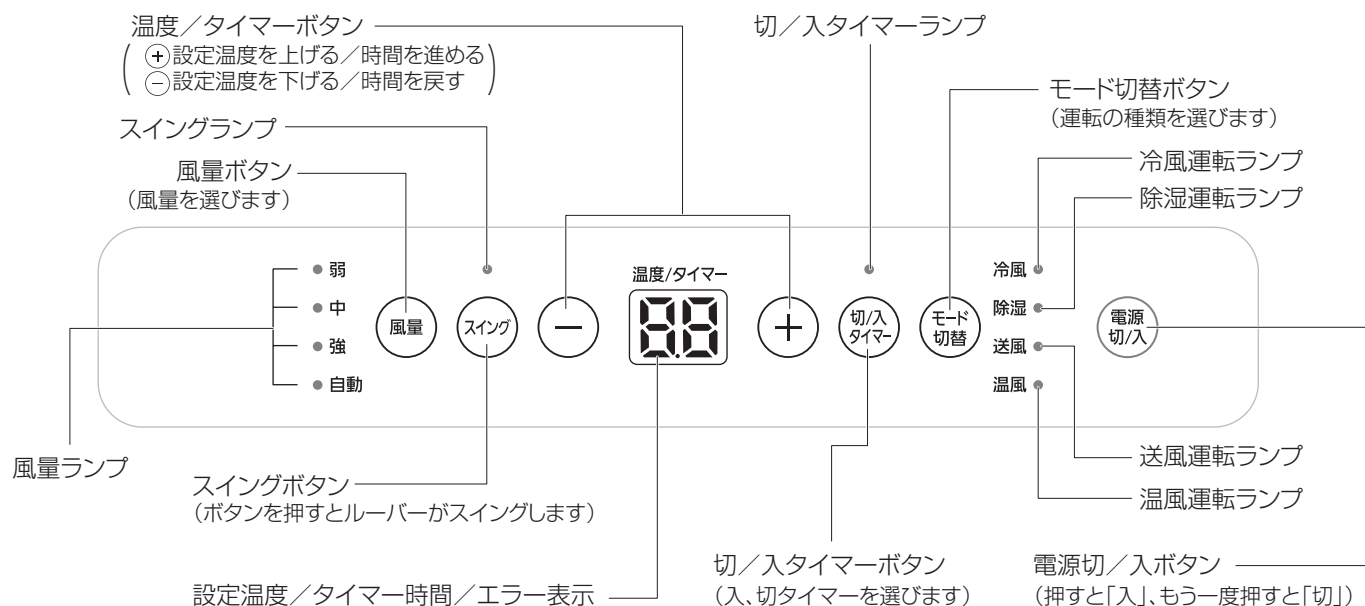
■排水時に使用するもの



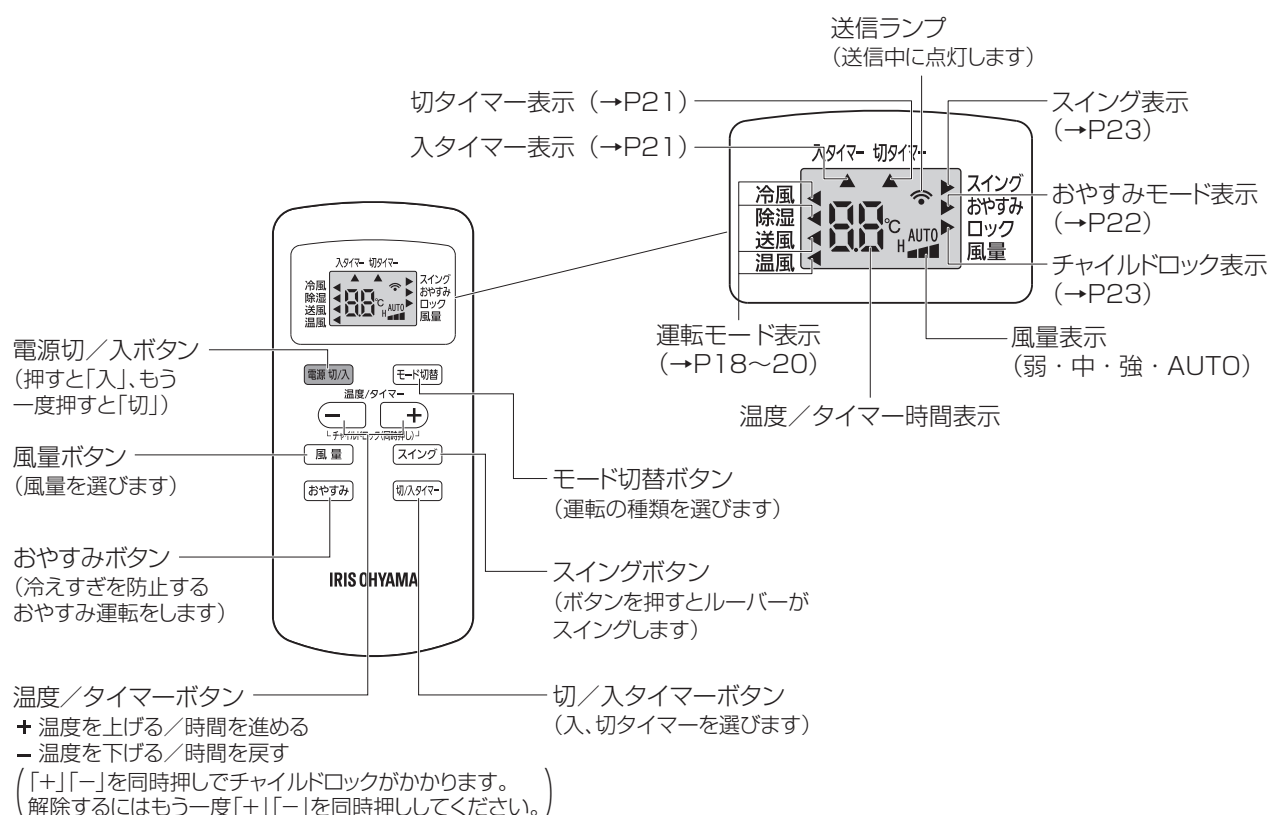
■必要に応じて使用するもの



操作パネル



リモコン



！ ポイント

- 本体の操作パネルで操作したとき、本体とリモコンの設定表示がずれて、リモコンの設定表示とは違う動作をすることがあります。その場合は、再度リモコンで操作すると、本体とリモコンの設定表示が一致します。

運転前の準備 本体の設置

リモコンに電池を入れる

リモコンの裏ぶたのつめを引いて取り外し、⊕⊖を間違えないように、乾電池を入れてください。

※ 単4乾電池2本が必要です。

※ 同梱されている電池は動作確認用ですので早く消耗することがあります。

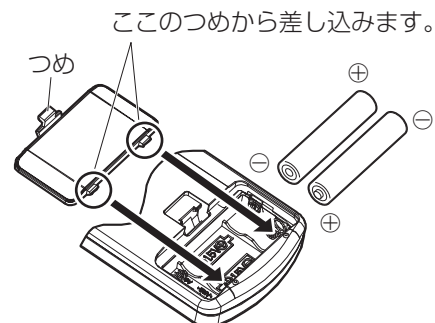


注意

● 電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。

「リモコンの電池についての注意」をよく読んで使用してください。(→P4)

● 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。



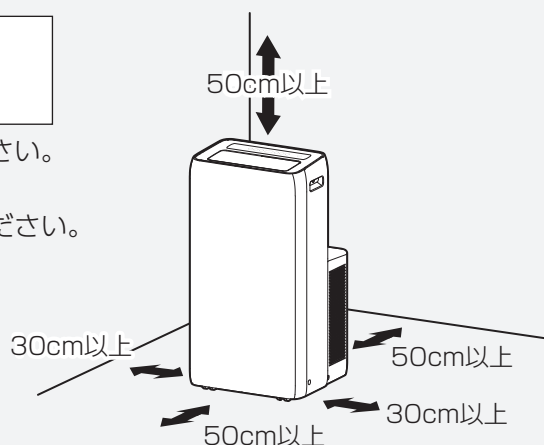
本製品の設置

設置する

① お願い

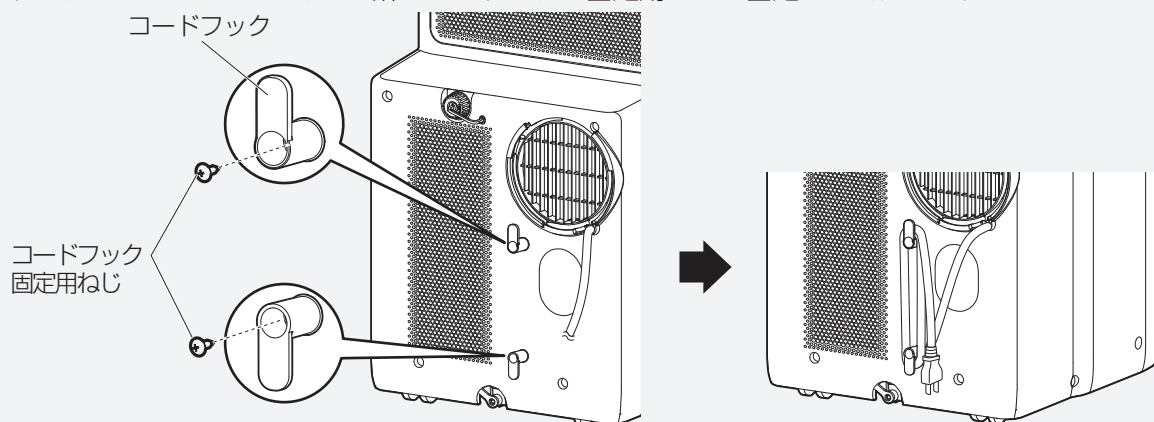
● 必ず2人以上で設置・移動を行ってください。

- ・ 効率よく運転するために右図のスペースを確保してください。
 - ※ 平らでしっかりとした床面に設置してください。
 - ※ 上方の棚などからも、物が落ちない場所に設置してください。



コードフックを取り付ける

- ・ コードフックをおさえながら、2か所をコードフック固定用ねじで固定してください。



排気ダクトを取り付ける

① お願い

●排気ダクトは排気口に必ず取り付けてご使用ください。

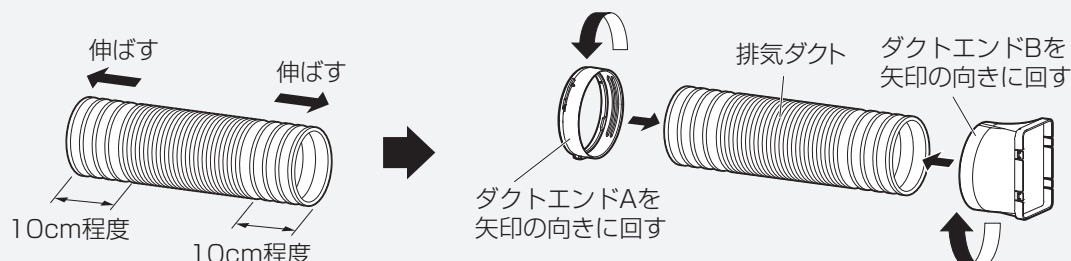
排気ダクトを取り付けずに使用すると、排気の一部が吸気に戻り、能力が低下することがあります。

●排気ダクト内の金属ワイヤーや排気ダクト端面の取り扱い時は、けがをしないようご注意ください。

●排気ダクトを延長しないでください。

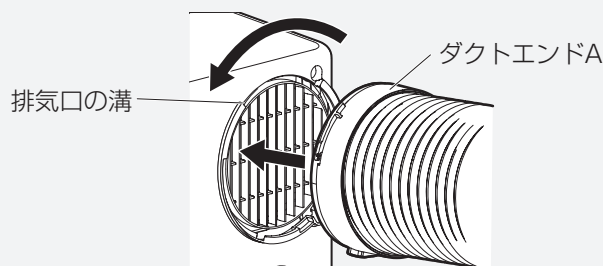
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。能力低下や安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。

- ①排気ダクトの両端を10cm程度伸ばして、ダクトエンドA・ダクトエンドBを排気ダクトに挿入し、奥まで5周以上右に回して固定してください。



- ②ダクトエンドAを、排気口の溝に合わせてまっすぐ押し込み、「カチッ」とロックするまで左に回してください。

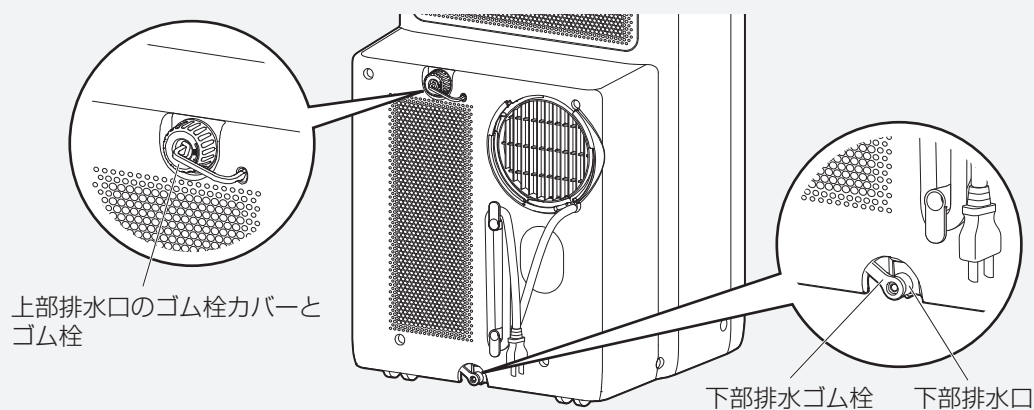
※排気ダクトを外すときは、ダクトエンドAを右に回してロックを外し、手前に引いてください。



- ③排気ダクトを適当な長さに伸ばします。

排気ダクトを調整するときは、ダクトエンドA・ダクトエンドBの根元に力がかからないように、必ず手を添えて行ってください。

上部排水口のゴム栓カバーとゴム栓、下部排水ゴム栓がそれぞれ上部、下部排水口に差し込まれていることを確認する



窓パネルの組み立てと取り付け

窓パネルの組み立てと取り付け時のご注意

- 窓パネルを使用することで、効率的に屋外への排気を行うことができます。
- ※窓パネルを使用しない場合は、排気の位置に注意してください。
- 雨や風が強いときは、必ず使用を中止し窓パネルを取り外してください。
- シャッターを閉じたままで、本体を運転しないでください。うまく排気できず、故障の原因になります。
- 外出するときは、窓パネルを外し、窓を閉めて窓自体の鍵をかけてください。

- 組み立てや取り付けは、周囲の安全を確認してから行ってください。
- 排気口からの風切り音や、本体の振動などにより騒音が発生する場合がありますので注意してください。
- 格子のある窓や指定サイズの引き違い窓以外には取り付けできません。
- 雨除けカバーは必ず取り付けてください。



注意

- 窓パネルの取り付けは、窓パネルの重量に耐える場所に、確実に取り付けてください。取り付けが不完全な場合、窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- 取り付けは、必ず付属の窓パネルや指定の部品を使って正しく取り付けてください。
- 窓パネルの移動や再設置をするときは、必ず正しく取り付けられていることを確認してください。取り付け方法に不備があると窓パネルの落下によるけがの原因になります。

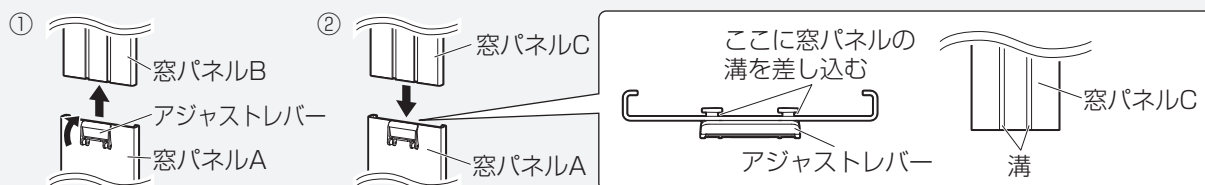
- ・取り付ける前に、はさみ（カッター）を用意してください。

窓の高さを測り、使用する窓パネルを決める

- ・窓パネルは、窓の高さが75cm～145cmまでの対応になります。
- ・75cm～115cmまでは、窓パネルA+Bの2枚を使用し、115cm～145cmまでは、窓パネルA+Cの2枚を使用してください。このとき、必ず2枚の窓パネルが6cm以上重なるようにしてください。

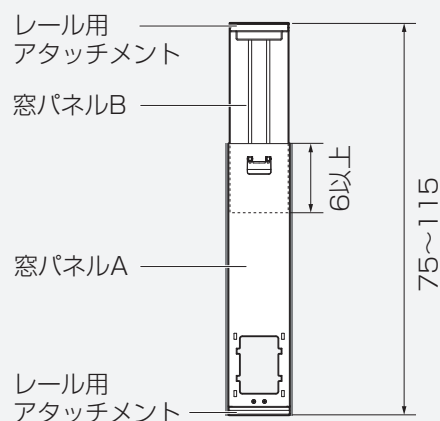
窓パネルA+C（115cm～145cm）の組み合わせにするには

- ・購入時は、窓パネルA+Bの組み合わせになっています。窓パネルA+Cの組み合わせにするには、以下の手順にしたがって窓パネルBをCに変更してください。
- ①アジャストレバーを上にあげて、窓パネルBを取り外してください。
- ②窓パネルCを差し込んで、アジャストレバーを下におろして固定してください。

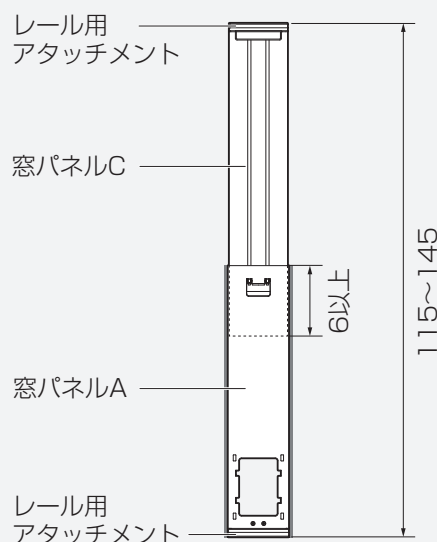


<窓パネルセット寸法> 単位cm

窓パネルA+Bで使用する場合



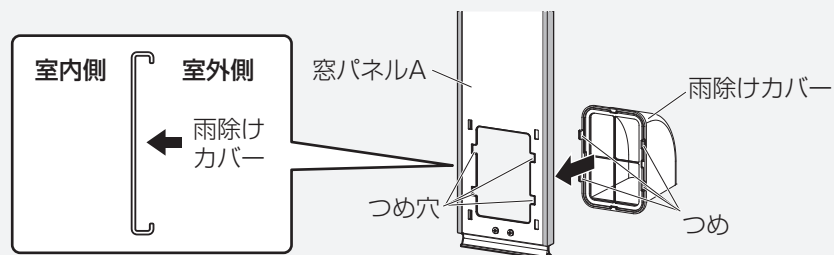
窓パネルA+Cで使用する場合



組立方法の詳細は、当社WEBサイト
でご確認いただけます。

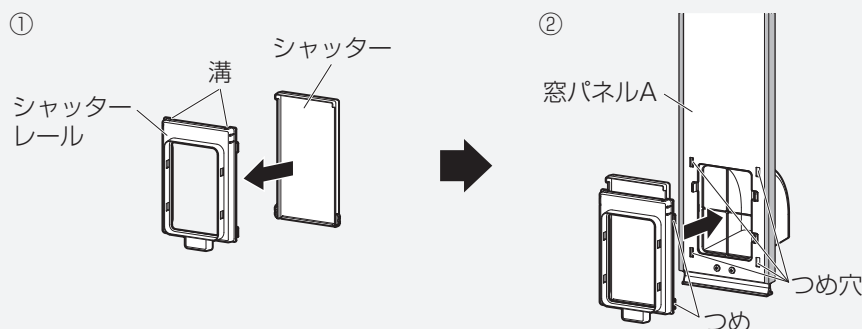
雨除けカバーを取り付ける

- 雨除けカバーのつめを、窓パネルAのつめ穴に合わせて、「カチッ」というまで差し込んでください。

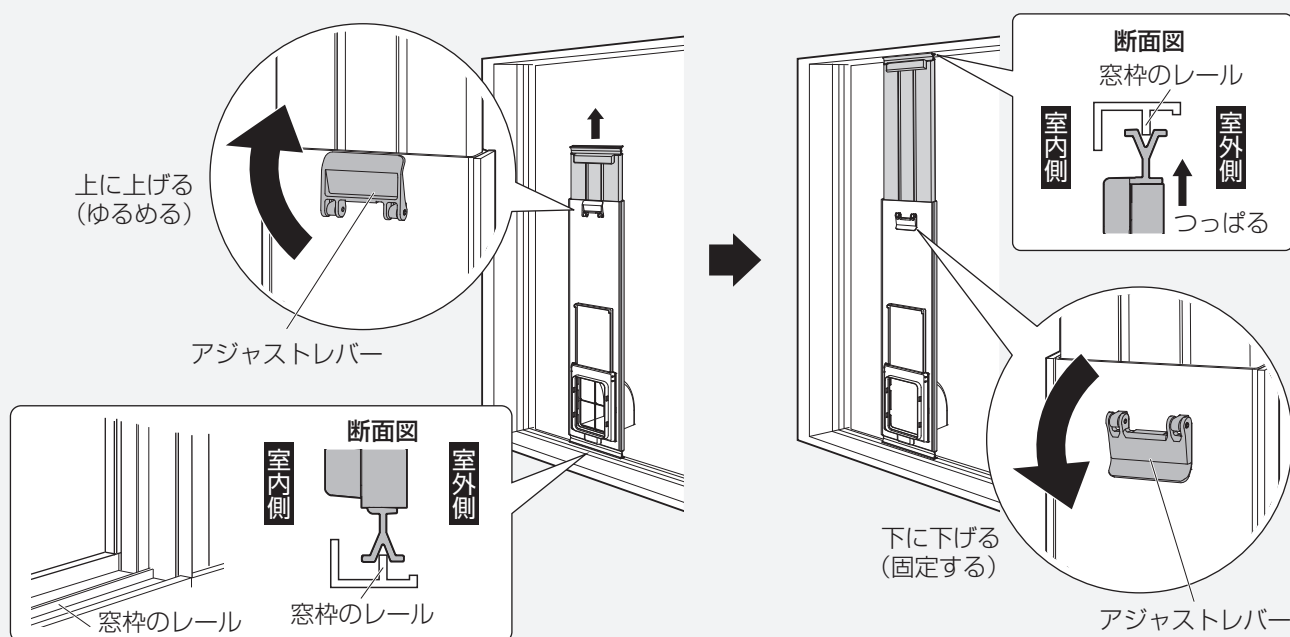


シャッターを取り付ける

- ① シャッターとシャッターレールを溝に合わせて重ねてください。(購入時は重ねた状態でテープ止めされているので、重ねたままテープをはがしてください。)
- ② シャッターを重ねたまま、シャッターレールのつめを窓パネルAのつめ穴に合わせて、「カチッ」というまで差し込んでください。



窓パネルを窓枠のレールに合わせて差し込み、固定する



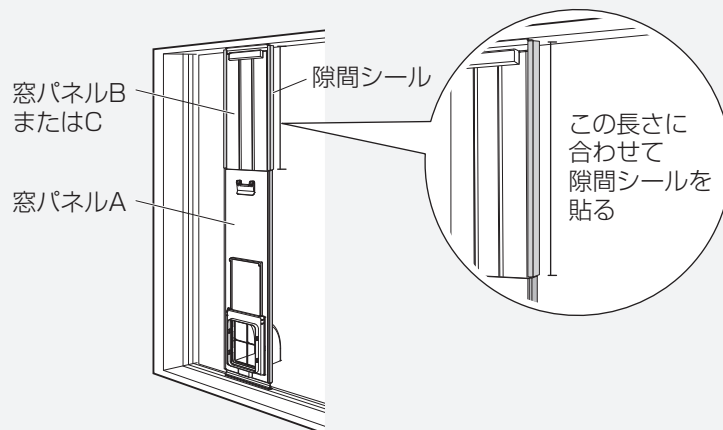
❶ お問い合わせ

- 必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。
- しっかりと上下につばってください。

運転前の準備

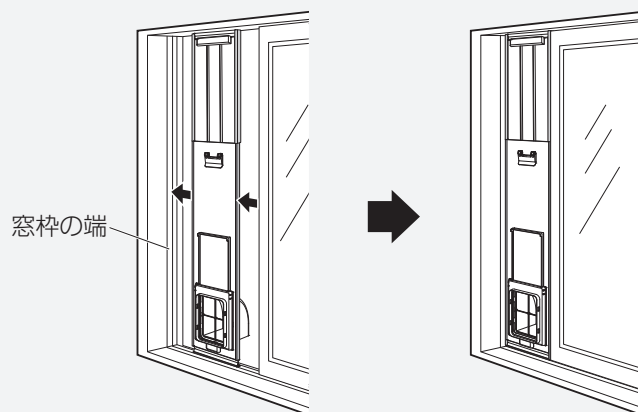
5 隙間シールを貼る

- 窓枠の上側のレールから窓パネルAと窓パネルBまたはCの境目までの長さを測ってください。
- はさみなどで取り付け長さに合わせて切断してください。
- 窓パネルBまたはCに隙間シールを貼ってください。



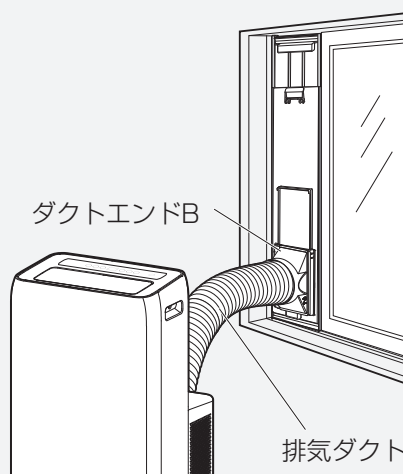
6 窓パネルを窓枠に隙間なく寄せて、窓を閉める

- 窓の戸で押して、窓のレールと平行に移動させるとスムーズに移動できます。



7 排気ダクトを窓パネルに取り付ける

- 取り付けが不十分だと、落下によるけがの原因になりますので、注意してください。
- ダクトエンドBを窓パネルの穴に差し込むとき、ダクトエンドBの向きに気を付けて、サッシにダクトエンドBが当たらないように注意してください。



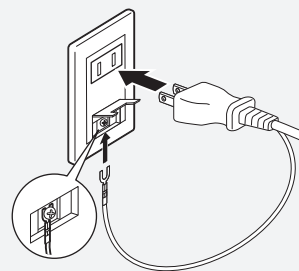
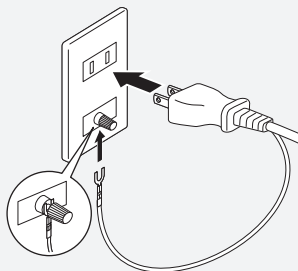
8 必要に応じて、窓パッキン、補助鍵、シャッター、キャスター受けを使用する (→P16、17)

電源プラグをコンセントに差し込む

- ・アースを取り付けることをおすすめします。ただし、湿気の多い場所や水気の多い場所では必ずアースを取り付けてください。

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の端子を、コンセントのアース接続端子に差し込んで固定します。
- ・ふた付きの場合は開けて接続してください。



- ・ コンセントの差し込みがゆるいときは、そのコンセントを使用しないでください。
電源プラグの発熱・発火の原因になります。

アース端子付きコンセントがない場合



警告

- ガス管、水道管、避雷針、電話やベランダの手すりなどのアースに接続しないでください。
感電の原因になります。

- ・ アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。

i お願い

- 移動させるときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、上部排水口と下部排水口からドレン水を捨ててから行ってください。(排水の方法はP24をご参照ください。) 抜いたゴム栓、ゴム栓カバー、下部排水ゴム栓は元通りに取り付けてください。(→P24)

運転前の準備 必要に応じて使用する

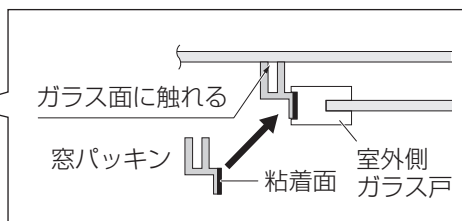
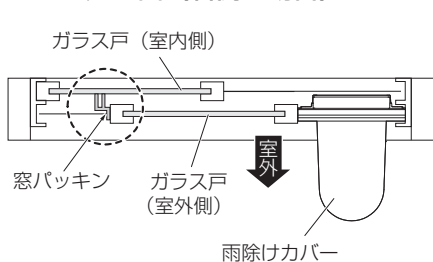
窓パッキンの貼り付けについて

① ガラス戸の隙間から外気や虫などの侵入が気になる場合は、室外側のガラス戸に窓パッキンを図のように貼り付けてください。

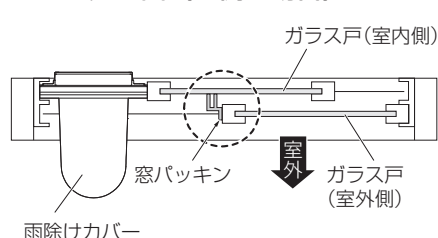
※ 必要な場合は貼り付けてください。

※ 貼付部分のほこりなどをよく拭き取ってから貼り付けてください。

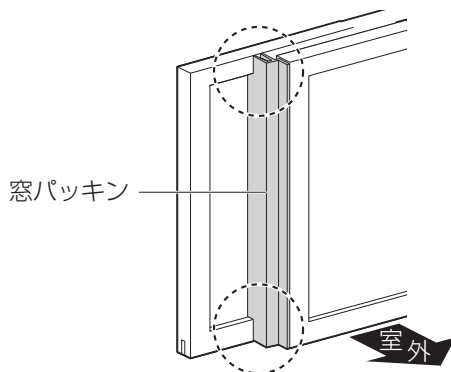
上から見た図（右側の場合）



上から見た図（左側の場合）



② ガラス戸の形状、長さに合わせてはさみなどで切断してください。



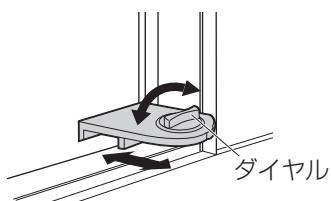
補助鍵の取り付けかた

窓パネルを使用するときは、必要に応じて補助鍵を取り付けてください。

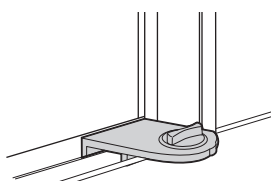
補助鍵使用時の注意

- 盗難・事故などの補償はできません。
- 補助鍵を取り付けできない窓枠もありますが、ご了承ください。
- 補助鍵のダイヤルを強く締めすぎないでください。窓枠や窓を傷めることがあります。

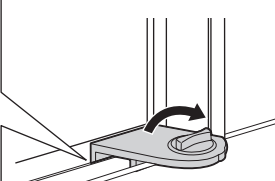
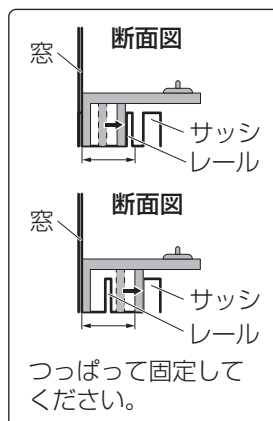
① ダイヤルを左右に回して、窓枠の奥行き幅に入るように調節する



② 手前と奥の窓や窓パネルとの間に、隙間がなくなるまで窓の戸を端へ押し付け、補助鍵を窓枠に挿入する



③ ダイヤルを右に回し、手前と奥の両方の窓をロックする

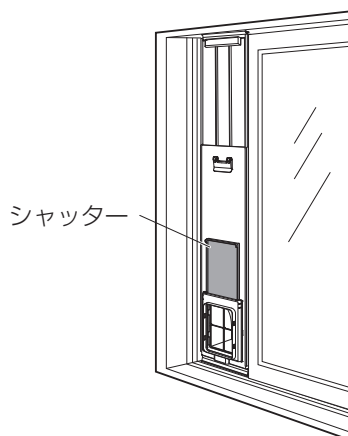


シャッターの使いかた

排気ダクトを使用しない、または運転しないとき、シャッターを閉じることで、室外からのにおいやほこりなどが、部屋へ入らないようにできます。**運転時はシャッターを開けて使用してください。シャッターが閉まっている状態で運転した場合、お部屋が冷えません（暖まりません）。**

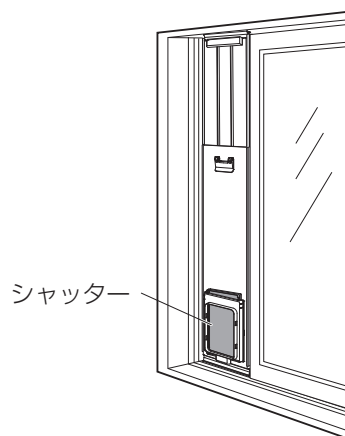
運転するとき（開状態）

ロックするまでシャッターを上スライドする。



運転しないとき（閉状態）

ロックを外し、シャッターを下にスライドする。

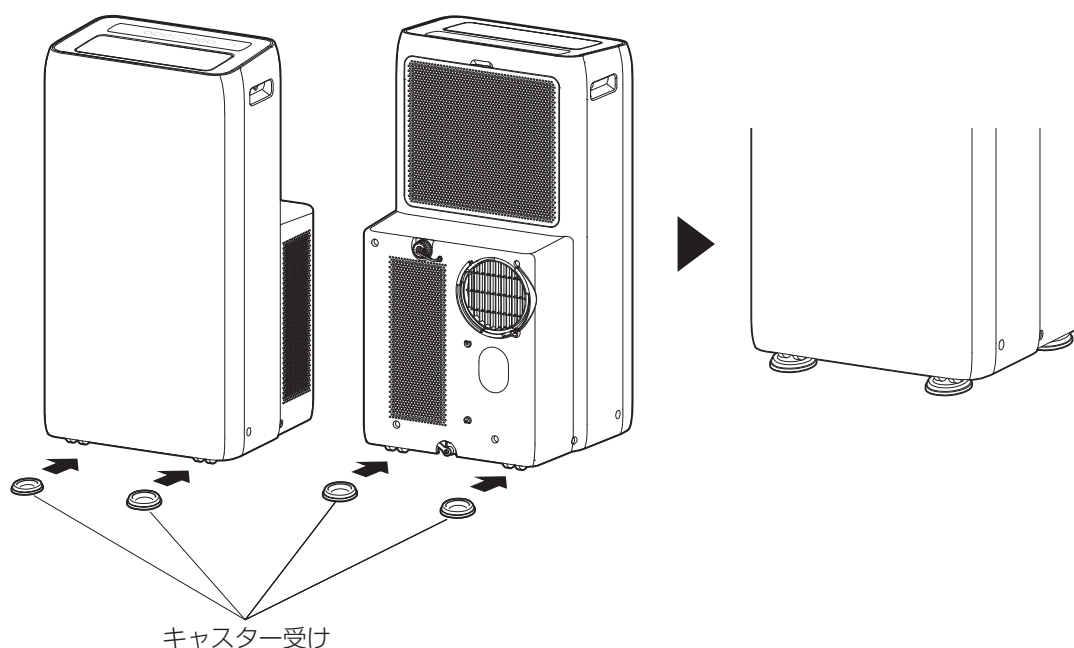


キャスター受けについて

本製品を長時間同じ場所で使用すると、床に傷がついたり、床の材質によってはキャスターの跡がついたりすることがあります。必要に応じてキャスター受けをご使用ください。

キャスター受け使用時の注意


- 内部の水を捨ててから、キャスター受けをご使用ください。
水もれの原因になります。
- キャスター受けを使用するときは、製品を転倒させないように注意してください。
けがや、床または家具などを傷つける原因になります。



使いかた

冷風運転

冷風運転時のご注意

- 温度／タイマーボタン（－／＋）を1回押すごとに1℃変化します。設定温度と実際に出ている冷風の温度は異なります。
- 経済的な使いかたとして26℃～28℃に設定することをおすすめします。
- 設定温度は、16℃～30℃です。
- ご使用の環境によっては、設定温度まで室温が下がらないことがあります。
- 部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、冷風運転をしません。（ファンは連続運転をしますが、冷風は出ません。）
- リモコンの  ボタンで再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回リモコンで設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。

あらかじめ、以下の2点を確認してから使用してください。

- ・ 上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・ 窓パネルのシャッターが開いていること

1 本体の またはリモコンの ボタンを押す

2 本体の またはリモコンの ボタンを押して、冷風に合わせる

- ・ 本体またはリモコン表示部に運転モード、風量設定、現在設定温度が表示されます。

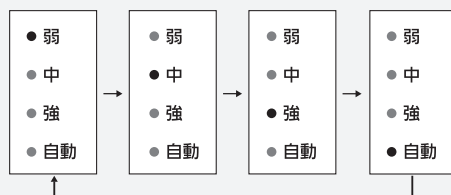
3 本体の またはリモコンの ボタン（－／＋）を押して、温度を設定する

- ・ 1回押すごとに1℃変化します。

4 本体の またはリモコンの ボタンを押して風量を選ぶ

- ・ ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



リモコン表示



- ・ 風量が自動の場合、風量の切り替えは自動的行われます。

運転を止めるには

- ・ 運転中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。



除湿運転



除湿運転時のご注意

- 設定温度の変更はできません。
- 風量は、弱風となり変更はできません。

あらかじめ、以下の2点を確認してから使用してください。

- ・上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・窓パネルのシャッターが開いていること

1 本体の  またはリモコンの  ボタンを押す

2 本体の  またはリモコンの  ボタンを押して、除湿に合わせる

- ・本体またはリモコン表示部に運転モード、風量設定が表示されます。(風量は弱風となり、変更はできません。)

運転を止めるには

- ・運転中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。



送風運転



送風運転時のご注意

- 設定温度の変更はできません。

あらかじめ、以下の2点を確認してから使用してください。


- ・上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・窓パネルのシャッターが開いていること

1 本体の  またはリモコンの  ボタンを押す

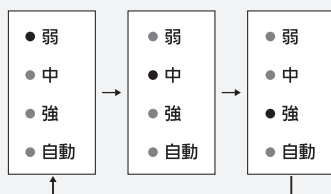
2 本体の  またはリモコンの  ボタンを押して、送風に合わせる

- ・本体またはリモコン表示部に運転モード、風量設定が表示されます。

3 本体の  またはリモコンの  ボタンを押して、風量を選ぶ

- ・本体またはリモコンの  ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



リモコン表示



運転を止めるには

- ・運転中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。

使いかた

温風運転

温風運転時のご注意

- 温度／タイマーボタン（－／＋）を1回押すごとに1℃変化します。設定温度と実際に出ている温風の温度は異なります。
- 設定温度は、16℃～30℃です。
- 十分に暖まった風を出すために、再運転開始から、最初の数秒～数分間は風が出ません。
- リモコンの電源 切／入ボタンで再度温風運転を再開した場合、設定温度は前回リモコンで設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。

i お問い合わせ

- 温風運転時は、ドレン水がたまるため、排水処理が必要となります。（→P24）

あらかじめ、以下の2点を確認してから使用してください。

- ・ 上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・ 窓パネルのシャッターが開いていること

1 本体の またはリモコンの ボタンを押す

2 本体の またはリモコンの ボタンを押して、温風に合わせる

- ・ 本体またはリモコン表示部に運転モード、風量設定、現在設定温度が表示されます。

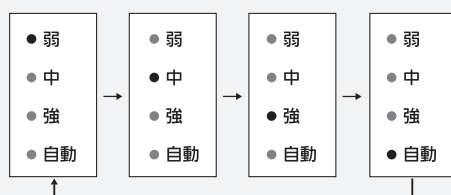
3 本体の またはリモコンの ボタン（－／＋）を押して、温度を設定する

- ・ 1回押すごとに1℃変化します。

4 本体の またはリモコンの ボタンを押して風量を選ぶ

- ・ 本体またはリモコンの風量ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



リモコン表示



- ・ 風量が自動の場合、風量の切り替えは自動的に行われます。

運転を止めるには

- ・ 運転中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。



その他の機能

切タイマー・入タイマー運転

設定した時間が経過すると自動的にタイマー運転します。

タイマー運転時のご注意

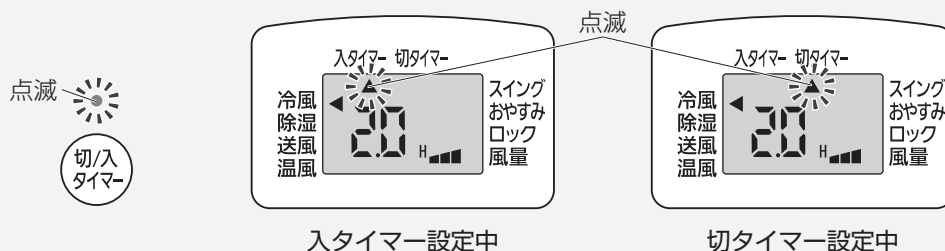
- 切タイマーと入タイマーは同時にセットできません。
- タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や、停電しても設定は解除されません。
- 切タイマーは運転停止中には設定できませんので、運転中に切タイマー予約をしてください。
- 入タイマーは運転中には設定できませんので、運転を停止させてから、入タイマー予約をしてください。

1 切タイマーは運転中、入タイマーは運転停止中に、本体の  またはリモコンの  ボタンを押す

本体の   またはリモコンの   ボタンを押して、表示部の時間が点滅中に時間を設定する

- ・お好みの時間に設定してください。(最小0.5時間、最大24時間までです。)
- ・本体で設定中は切/入タイマーランプが点滅し、リモコンで設定中はタイマー機能の設定が点滅します。

2

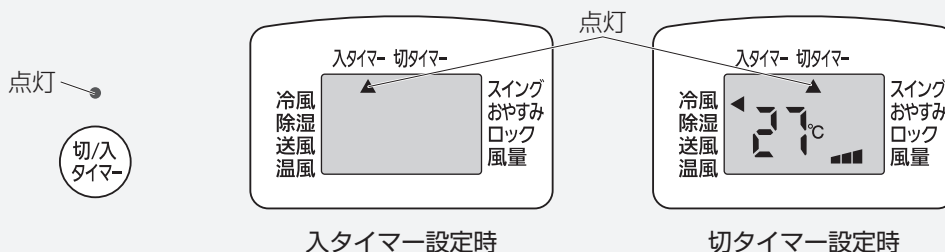


- ・1回押すごとに10時間までは0.5時間、10時間以上は1時間ずつ変化します。

本体の  またはリモコンの  ボタンをもう一度押す



- ・タイマー運転を開始します。
- ・本体の切/入タイマーランプが点灯します。リモコンで設定時は、リモコン表示の切タイマー/入タイマー機能の設定も点灯します。

3



- ・何もボタンを押さなくても、約5秒後に切/入タイマーランプは点灯し、切タイマー/入タイマーが設定されます。

タイマー運転を取り消す

- ・本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。本体の切/入タイマーランプまたはリモコンのタイマー表示が消灯します。

その他の機能

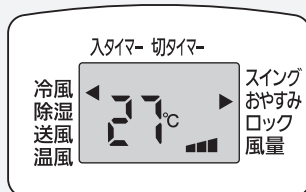
おやすみ運転

おやすみ運転時のご注意

- おやすみ運転は冷えすぎ、暖めすぎ防止運転であり、自動的に運転停止するタイマー運転ではありません。
- おやすみ運転は冷風・温風運転時に設定できます。

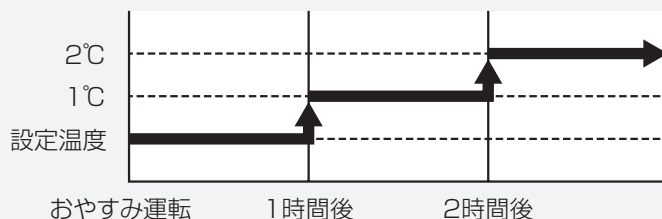
冷風・温風運転中にリモコンの **おやすみ** ボタンを押す

- ・リモコン表示部におやすみモード表示「▶」が表示されます。



冷風運転の場合

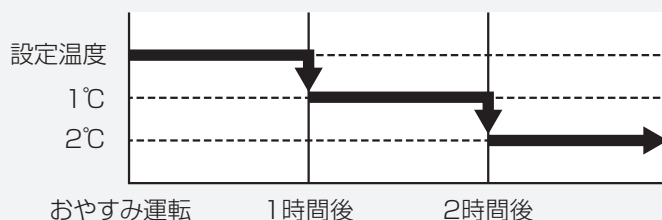
- ・おやすみ運転をすると、セット後約1時間後、設定温度を1℃アップさせ、さらに1時間後（おやすみ運転をセットして2時間後）設定温度をもう1℃アップします。設定温度が30℃より高くなることはありません。



- ・その後は、2℃アップした設定温度で運転を続けます。

温風運転の場合

- ・おやすみ運転をすると、セット後約1時間後、設定温度を1℃ダウンさせ、さらに1時間後（おやすみ運転をセットして2時間後）設定温度をもう1℃ダウンします。設定温度が16℃より低くなることはありません。

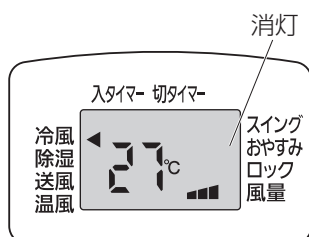


- ・その後は、2℃ダウンした設定温度で運転を続けます。

- ・おやすみ運転中に本体操作パネルで設定温度を変更した場合、おやすみ運転は一度リセットされ、その設定温度からおやすみ運転を再開します。
- ・おやすみ運転中にリモコンで操作をした場合、おやすみ運転は一度リセットされ、リモコンの設定温度からおやすみ運転を再開します。また、リモコンのおやすみモード表示「▶」が表示されていないとおやすみ運転は解除されます。

おやすみ運転を取り消す

- ・もう一度リモコンの **おやすみ** ボタンを押すと **おやすみモード表示「▶」** が消灯し、おやすみ運転が取り消されます。



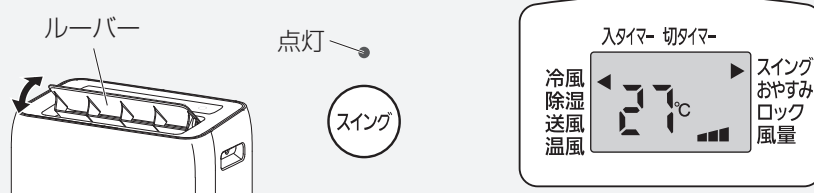
スイング

スイング時のご注意

- 吹出口や吸込口にピンや針などの金属物や、指を入れない。
内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になるおそれがあります。
- 手でルーバーを動かさない。
故障の原因になります。

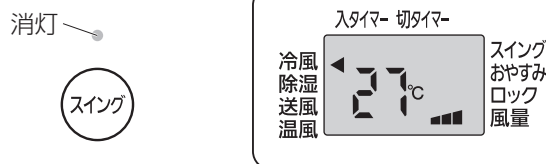
1 本体の **スイング** またはリモコンの **スイング** ボタンを押す

- ・ 本体の**スイングランプ**またはリモコンの**スイング表示「▶」**が点灯し、ルーバーがスイングします。



スイングを止める

- ・ 本体の **スイング** またはリモコンの **スイング** ボタンを押すと、本体の**スイングランプ**またはリモコンの**スイング表示「▶」**が消灯し、スイングが止まります。

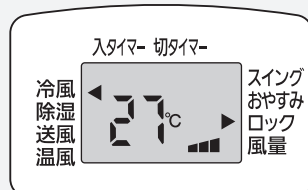


チャイルドロック

- 製品本体にロックはかかりません。

1 リモコンの **－** **＋** ボタンを同時に押す

- ・ リモコン表示部に**チャイルドロック表示「▶」**が表示されます。



設定を取り消す

- ・ もう一度リモコンの **－** **＋** ボタンを同時に押すと、ロックが取り消されます。

排水について

本製品を湿度が高い場所で使用すると、内部にドレン水がたまり、満水表示（「H8」エラー）することがあります。排水方法は、通常排水方法と連続排水方法の2種類があります。

通常排水（下部排水口）：通常運転時

連続排水（上部排水口）：冷風運転・除湿運転時に頻繁に満水表示（「H8」エラー）する場合

※ 温風運転時は、連続排水に対応していませんので、通常排水で排水してください。

排水時のご注意

- 湿度が高い場所で運転を行うと、ドレン水がたまりやすくなり、本体表示部に「H8」が表示されて、ドレン水が満水になり停止することがあります。停止したときは、容器を用意しゴム栓を抜いて、製品内にたまったドレン水を排水してください。ドレン水を抜いた後は、ゴム栓を元通りに差してください。ゴム栓を抜いたまま運転すると、床や家財をぬらす原因になります。

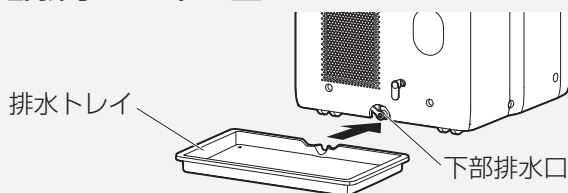


- 必ず電源を切って、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。排水中に「H8」エラーが解除されて運転が開始し、感電のおそれがあります。

通常排水：通常運転時

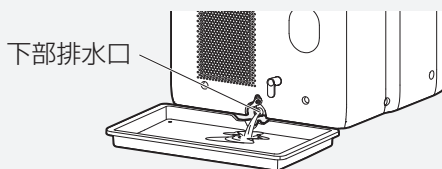
付属の排水トレイを下部排水口の下に置く

1



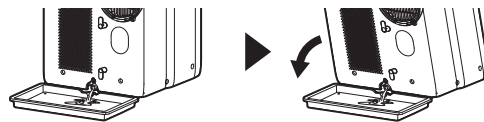
下部排水口から下部排水ゴム栓を抜いて排水する

2



① お願い

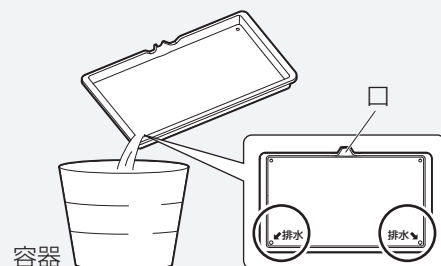
- 排水しても、本体表示部に「H8」が表示されて運転できない場合は、本体を後方に傾けて排水してください。（容器内の水を一度捨ててから傾けてください。）
- ドレン水が排水トレイからあふれないように注意してください。



3

バケツなどの容器に、ドレン水を捨てる

- ・ トレイの角の矢印の方向から水を流して捨ててください。（排水トレイの口から、ドレン水を流して捨てないでください。口以外から水があふれるおそれがあります。）
- ・ ドレン水の入ったトレイを持って移動する場合は、水があふれないように十分注意してください。



4

排水後は下部排水ゴム栓を取り付ける

連続排水：冷風・除湿運転時、頻繁にエラー表示「H8」が表示されるとき

※ 温風運転時は、連続排水に対応していませんので、通常排水で排水してください。

排水時のご注意

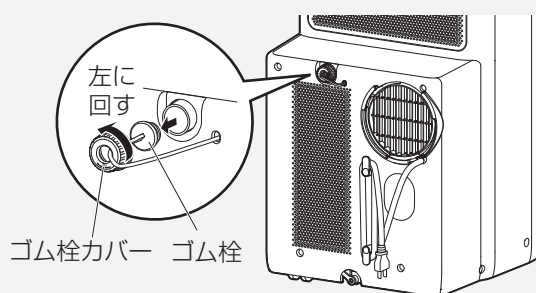
- 運転した後にゴム栓を外すと、中に残っている水がこぼれることがあります。
- 排水の容器の水量やホースの外れ等を確認してください。
- 就寝時など、長時間容器の水量を確認できない時は、連続排水をしないでください。

1 付属品の上部排水用ホースアダプターと排水ホースを準備する

上部排水口のゴム栓カバーを左に回して取り外し、ゴム栓を外す

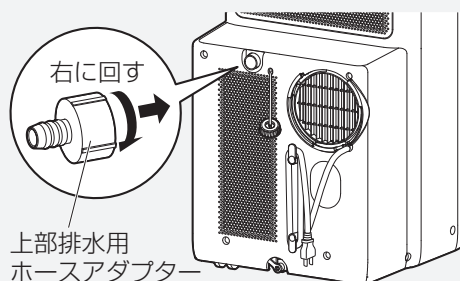
- ・ 運転した後にゴム栓を外すと中に残っている水がこぼれるおそれがあります。

2



上部排水用ホースアダプターを右に回して固定する

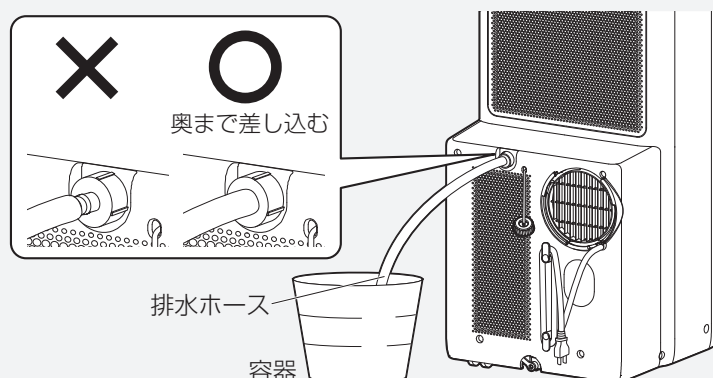
3



上部排水口に排水ホースを取り付ける

- ・ 排水ホースは奥まで取り付けてください。
- ・ 容器に連続排水してドレン水をためるときは、容器のドレン水量をこまめに確認してください。ドレン水が容器からあふれて床をぬらす原因になります。

4



5 連続排水を止めるときは、ホースを取り外し、ゴム栓とゴム栓カバーを取り付ける

お手入れ



- お手入れをするときは、必ず本体の **電源切/入** またはリモコンの **電源切/入** 押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。

内部でファンが高速回転しているので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。

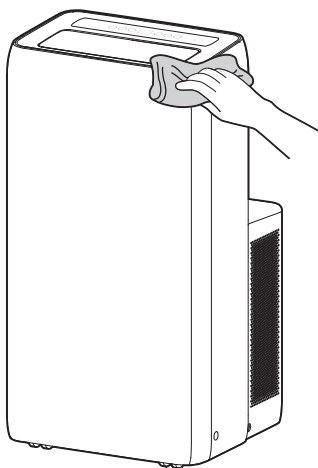
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。
- 本体の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。
また、引きずって移動しない。
けが、水もれまたは床を傷つける原因になります。

本体のお手入れ

① お願い

- 40℃以上のお湯は使わないでください。高温のお湯を使うと本体が変形することがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉、塩素や酵素系洗剤などは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書きにしたがってください。

- ・柔らかい布で、から拭きしてください。
- ・特に汚れがひどい場合は、かたく絞った布などで水拭きしてください。



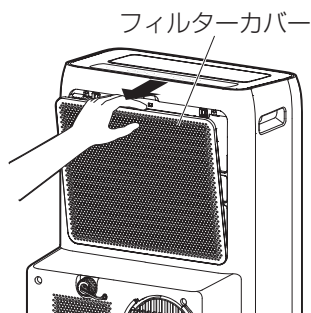
エアフィルターの掃除

① お願い

- 40℃以上のお湯で洗わないでください。エアフィルターが縮むことがあります。

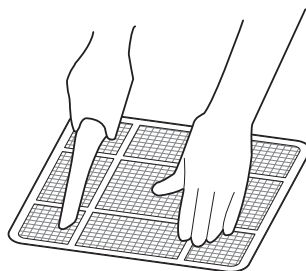
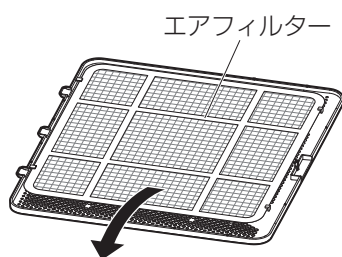
シーズン中は2週間に1回程度掃除してください。

- ①フィルターカバーを本体から取り外してください。



- ②エアフィルターをフィルターカバーから取り外して、掃除機などでほこりを吸い取ってください。

- ・エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、冷風・温風効果が低下します。



通常時：
掃除機でほこりを吸い取る

汚れがひどいとき：
水洗いする
※水洗い後は、エアフィルターを
乾かしてください。



掃除が終了したら、取り外した逆の手順でエアフィルターとフィルターカバーを取り付けてください。

保管のしかた

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・エアフィルターは掃除して、取り付けておいてください。
- ・内部の水は捨ててください。
- ・排気ダクトは取り外し、本体をビニールカバーなどで覆ってください。
- ・リモコンから乾電池を取り出してください。
- ・湿気の少ない、風通しのよい場所で保管してください。

こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状 態	原 因 ・ 処 置
運転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	本体の  またはリモコンの  ボタンを入にしてください。電源が切になっています。
	冷風・除湿運転時は、16～35℃の範囲で（温風運転時は室温12～25℃の範囲で）お使いください。指定の温度範囲外で使用すると、製品内部の保護機能がはたらき、運転できないことがあります。その場合数分お待ちください。
停止直後に再運転できない	3分以上経過後、電源を入にしてください。製品内部の保護機能がはたらき、3分程度運転が開始しない場合があります。
運転モード変更直後に冷風や温風が出ないことがある	その状態で数分お待ちください。運転モードの切り替えを行っています。
冷えが悪い・暖まりが悪い	排気ダクトや窓パネルを正しく取り付けてください。
	エアフィルターを掃除してください。エアフィルターが汚れています。（→P27）
	冷風運転、除湿運転のときは、他の熱源を取り除いてください。
	吹出口や吸込口・排気口がふさがっているのを、ふさいでいるものを取り除いてください。窓パネルのシャッターを開けてください。
	コンセントは単独で使用してください。単独で使しないと電圧が低下することがあります。
停電復帰後、運転ボタンを押さなくても運転を開始する 電源プラグを差したと同時に運転を開始する	運転中に停電または電源プラグを抜いて運転停止しています。運転中に停電または電源プラグを抜いて運転停止すると、通電後自動で運転を再開します。
音がする	運転直後「シューッ」という音がすることがありますが、異常ではありません。製品内部の冷媒が流れる音です。
	運転の開始または停止時に「ピシピシ」と音がすることがありますが、異常ではありません。プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。
	製品内部でコンプレッサーが作動しています。振動と共に音を発しますが、異常ではありません。また、常時作動しているわけではなく、急に作動することもあります。異常ではありません。
	排気ダクト、窓パネルを正しく取り付けてください。（→P11～14） 排気ダクトや窓パネルが確実に取り付けられていないと、音が大きくなる場合があります。
運転音が大きい	正しく設置してください。不安定な場所に設置しています。（→P10）
	正しくエアフィルターを取り付けてください。エアフィルターが正しく取り付けられていません。
においがする	運転中に吹き出す風がにおうことがあります。本体やエアフィルターをお手入れしてください。（→P27）

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分で分解・修理・改造しないでください。

本体表示部に英数字のコードが表示されたら・・・

英数字コード	原因・処置
エイチ・ハチ H8	ドレン水が満水になっています。 排水方法にしたがって、排水を行ってください。(→P24)
エフ・ゼロ F0	運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 製品内部の異常を検知しています。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。延長コードを使用している場合は、電源プラグをお部屋に備え付けのコンセントに差し直してください。
エフ・イチ F1	運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 室内温度センサーの異常を検知しています。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
エフ・ニ エフ・ヨン F2 F4 または	運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 配管温度センサーの異常を検知しています。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
イー・ハチ エイチ・サン E8 H3 または	運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 過熱防止保護装置がはたらいています。 排気口周辺に排熱を妨げるものがあれば、取り除いてください。 延長コードを使用している場合は、電源プラグをお部屋に備え付けのコンセントに差し直してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

型番	IPA-2822GH	IPA-3522GH
電源	100V 50/60Hz	
冷風能力	2.5/2.8kW	3.1/3.5kW
冷風消費電力	810/910W	850/1040W
冷風運転電流	9.4/9.1A	8.9/10.4A
温風能力	2.2/2.5kW	2.6/2.9kW
温風消費電力	785/925W	875/1100W
温風運転電流	9.3/9.3A	9.1/10.9A
冷媒	R410A	
冷媒封入量	380g	480g
電源コード	約2.0m	
本体寸法	幅425×奥行393×高さ804mm	
質量	30kg	34kg

製品の仕様は予告なく変更することがあります。



冷風・温風能力については当社自主基準の下記条件で測定した値です。

(1) 冷風能力は、空気条件30℃、相対湿度70%強運転時の値です。

(2) 温風能力は、空気条件20℃、相対湿度60%強運転時の値です。

(3) 「/」で示されている値は左側が50Hz、右側が60Hzの値です。

なお、使用環境や使用状況により商品の性能が異なる場合があります。

長年ご使用のポータブルクーラーの点検を！		
 愛情点検	こんな症状はありませんか	<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする ● ブレーカーが頻繁に落ちる ● 電源コードに破れがある ● 運転音が異常に大きい ● その他の異常や故障がある </div> <div>  <div> ご使用中止 </div> </div> <div> 故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。 </div>

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。


- 【製造年】
- 【設計上の標準使用期間】

■ 設計上の標準使用期間について

- 標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。
- 無料修理を行う保証期間や、補修用性能部品の保有期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS C 9921-3に基づく）

		冷風	温風
環境条件	電源電圧	単相100V	
	周波数	50 / 60Hz	
	温度（室内）	27℃（乾球温度）	20℃（乾球温度）
	湿度（室内）	47%（湿球温度：19℃）	59%（湿球温度：15℃）
	設置条件	標準的な設置	
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間	
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋	
想定時間	1年間の使用日数（東京モデル）	6月2日から9月21日までの 112日間	10月28日から翌年4月14日までの 169日間
	1日の使用時間	9時間／日	7時間／日
	1年間の使用時間	1,008時間	1,183時間

**注意**

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。表記の標準使用期間に満たないときでも、上記のような異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

- 保証書
お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 保証期間
保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
- 保証期間経過後の修理
お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間について
当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについて
ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

ポータブルクーラー 型番：IPA-2822GH／IPA-3522GH

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：本体 1年間 冷媒回路(圧縮機・熱交換器・本体配管) 3年間	
お客様	お名前		住所・店名 電話 () -
	ご住所 〒		
	電話 () -		
	※販売店		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼にできない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

- お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

